



まくば

わたしたちのまち

(昭和58年3月1日現在)

人口 21,444 (+5)

男 10,612 (-9)

女 10,832 (+14)

世帯数 6,362 (-7)

—人のうごき(2月中)—

転入 58人 転出 62人

出生 18人 死亡 9人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



58年

4

No.375

おもな内容

- 町づくりはあなたが主役です……………2・3
- 昭和58年度の骨格予算が決まる……………4
- いい環境を作りたい 街を清潔に保ちたい……………5
- 歯の治療 基本的には保険で受けられます……………6
- 新入学児の交通事故を防止しよう……………7
- 青少年の非行防止は家庭のしつけから……………8
- スポーツひろば……………9
- 第31回婦人まつりが行われる……………11
- ふるさと館ニュース④……………12

春近し 早くもビートの種まき

畑作農家では、4月下旬の移植時期に間に合わせようと、ビートの種まき作業が始まっています。ビートの種は、ハチの巣のようなペーパーポットの土入りの紙筒に種をまき、発芽させたあと50日ぐらいで畑に移植します。

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(0155)54-2111

●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

町づくりはあなたが主役です

第6回 明るいまちづくり住民大会開かれる



110人が参加して行われた「まちづくり住民大会」

第六回「明るいまちづくり」住民大会が、二月二十七日に町民会館において、百十人が参加して開かれました。従来までの大会は、教育委員会が主催していましたが、今回からは「まちづくりのまち推進委員会」が主催。住民主体の大会は今回が初めてです。

大会では「地域づくりの視点」と題しての講演、「地域の実践活動内容や問題点を出し合い、公区活動を見直そう！」がテーマで分科会が行われ、積極的な意見が出されました。

明るいまちづくり住民大会は、「住民みよい地域社会づくり」を目標に、昭和五十三年から毎年一回行われています。

今年は「明るいまちづくり、地域づくりはあなたの『知恵と手』」を大会スローガンに、二月二十七日に町民会館において行われ

ました。大会には百十人が参加、積極的な意見交換がありました。

分科会は「地域の実践活動内容や問題点を出し合い、公区活動を見直そう」というテーマで、五分科会に分れ、話し合いました。

今までの大会では、分科会の意見を全体討議で内容をまとめていきましたが、今回は全体討議を行わず、分科会の意見のみにとどめました。その内容をお知らせいたしますので、当日参加できなかった皆さんもいっしょに考えてみませんか。

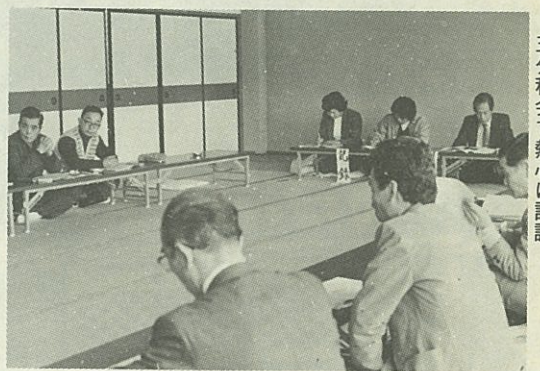
分科会では

積極的な意見が続出

■住民大会で思ったこと

- 住民大会は地域のリーダー研修会に思えた
- 結果を町の広報紙で町民に知らせしてほしい
- 参加するのは初めてだが、町関係者の出席が少ない。この問題点を伝えるのにどうするのか
- 各団体の皆さんは、今日の話し合いの内容を組織内、地域に持ち帰り検討、話し合いをしてほしい
- 黒田先生の講演は勉強になった
- 公区内で思ったこと
- 公区内で話し合ったことは実行しよう
- 公区の行事や会合に多く出席してもらおうには、役員の交代を早める。全員が役員になったつもりで一人ひとりの意識を高める。欠席

五分科会で熱心に討議



の場合は連絡を、会場は近い所で欠席者には罰則を、そして出席者は時間厳守をしてほしい

- 公区内のふれあいには、気軽に集まれる機会をつくり、特技や趣味を生かした集まりにしてはどうか
- 公区内で交通事故が発生したことにより、交通安全公区大会を開催したが、大勢の参加があった
- 社交ダンスを公区ぐるみで行っている。夫婦で出席すると家庭の理解が不安であったが、子供たちが理解してくれてうれしい。ダンスにより親ぼくにつながっている
- 公区内のお知らせ的な連絡網は大変いいことだ
- 廃品回収は全町を挙げて取り組む必要がある
- 地域で積極的にやってくれるリーダーが必要ではないか
- 公区旗を作り、葬儀のときや公

区の行事にも利用している

○近くの公区と連合会をつくり、当番制で運動会を実施し、親ぼくに効果があがっている。費用は資源回収の利益で賄っている

○総会の時の懇親会に会費を徴収したら、出席率が高くなった

○新年会を開催、家庭にある料理を持ち寄り、また、カラオケ大会で親ぼくを図った

○公区内の清掃を四月から十一月までの間、月一回実施したが、効果が上がった

○地域づくりは公区の「和」が必要ではないか

○町税を完納することにより報償金をもらい公区の経費にしている

○公区活動には一人ひとりが参加する義務がある。参加者が少ない

○明治、大正生まれの人が集まり、月三百円会費で年二回の親ぼく会をしている。名称も若返りを願って、老化でなく老花と名付けた

○子供の成長により、利用できなくなったものの交換会をしてはどうか

○公区長会議には、地域づくりについて詳しく話し合いたい。そのことにより地域中心の公区になると思う

■新生活運動について

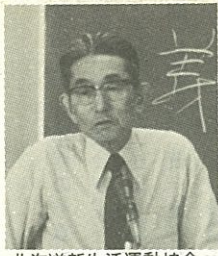
○公区では、お見舞などのお返しを廃止し、お礼のはがきを公区で用意してある。婚礼は会費制で、町

内の施設を利用する場合は、一人二千五百円以内とし、葬儀では花輪を出さない、積極的に手伝いをする。忌中引などの料理は、公区で料理屋と契約しているため安い。この運動の成果が上がっている

○葬儀の祭壇が高い。公区で簡素化を考えているが、隣り町では、はでにやっているので実施は困難だ
○葬儀に花輪より献花紙にしたほうが経費の節減になる。その利用を勇気を持って実行してはどうか
○町で祭壇を作り、貸出をしては、

講演

「地域づくりの視点」



北海道新生活運動協会 推進委員 黒田 喜一氏 (中津町)

最近、青少年の非行が増加し社会問題になっていきますが、一人ひとりの子供を見るとみんな良い子供たちばかりです。でも、三人、五人と集まると悪いことをするんですね。ごく普通の子供が、いつ非行を起こすかという事です。防犯協会の方が駐車場の車を調査したところ、八千台のうちカギが付いていたのが三百二十台、ドアが開くのが四千三百台、エンジンのかかっていたのもあったそうです。こ

葬祭センターをつくってはどうか
○町で新生活運動をさらに強化すべきだ
○成人式、入学式などの着物は、最近高価なものが多い。どう思うか

■非行問題について
○子供にすぐお金を与えたり、高い物を買ってやることがある。お金の大切さを知らせよう
○先生も親もテストの点数で評価をしてはいけない

○学校の部活動は大きな効果があると思う。遊技場へ出入りする中
ういうことだから、子供が車をい
たずらをするんですね。今の子供
は、団体になると自制心が乏しく、
衝動化するんです。
朝食を取らないで学校へ行く子
供が、三千七百人の内、百七十人も
いて、学校の給食を待っている。
理由は、食べたくない、食べる時
間がない、朝食ができていない、
ということなんです。ぜひ、子供たち
に暖かいご飯を食べさせてほしい、
そして、できれば親子一緒に食事
をしていただきたい。私の町の調
査で一日に一回も親と食事をしな
いというのが三千人のうち一千人
もいました。その理由を聞くと、
父の都合ということであり、食事
と一緒にする努力すら忘れていま
す。家庭のけじめは食事からとい
うことにしていただきたい。その
ことにより親子の対話ができ、非
行防止につながると思います。こ
の住民大会でも、ぜひ運動しては
どうだろうか。

親がいくら努力しても子供はつ

学生や高校生が目だつ
○家庭の暖かき、小さい時からの
しつけ、地域づくりが大切

○親の再教育が必要と思う。現代
の親は子供に甘い。子供にがまん
する教育を。礼儀が欠けている
○子供に愛情をささげる時間をつ
くってはどうか

○町内では、今のところ大きな問
題になる非行はないが、安心でき
ない。一般的に車に関連したこと、
子供の服装の変化、共稼ぎの留守
中の家庭のたまり場などを注意す
いて来ない、いわゆる大人も勉強
しなければ子供の非行防止はでき
ません。勉強は物事を知るとい
うことも大切ですが、子供に対して
有害な環境を撤去したり、改善す
ることも勉強であります。例えば、
ポルノ雑誌もそうだ。ある町の調
査で中学三年生が回し見をしたと
いうのが七〇％あった。これは自
動販売機から買う、家から持って
くるということですね。地域の環
境点検と環境一掃運動を、地域活
動として取り組んでいただきたい
と思います。

暮らしの中の公共性を考えなけ
ればなりません。人間は一人で生
きられないという相携えて生活を
していることを、もう一度確認し
ていただきたい。例えば、団地に
住んでいて遠くへ出かけ、ガス栓
のことが心配になる、それで地域
の人と協定して、行き先から電話
でガスの確認をもらう方法も
あります。これが、暮らしの中の
公共性だと思います。私たちの多

ることにより、明るい町になるの
ではないか
○家庭六、学校三、社会一が子供
に対する教育の比重だ。家庭、と
くに親と子の話し合いを大切に、
悪いことをしたら、みんな注意
できるような社会環境に

○帯広の中学校で、タバコを持っ
ているか、などの服装検査をした
が、家庭でもできないだろうか
○先生と生徒のつながりが薄らい
でいる。少年の非行防止は愛情が
必要。また、家庭の不和から非行

くの人たちとつながり、生活をし
ているんだという公共性を確認し
たいと思います。
人と人のかかわり合いという社
会的関係で、一番大切なことは夫婦
で、そして兄弟、地域であります。
人の結びつきを、なお一層努力す
る必要がある。遠くの親せきよりも
近くの他人というのが、果してどう
か、私の子供が悪いことをしたら
しかってくださいと、あなたの子供
さんが悪いことをしたら私しかり
ますよと、それでもいいですが、と
いう地域の中の話し合い、そのこ
とにより非行を防止できるので
ないでしょうか。

地域の人の意見交換とか、身
近なことを知らせるといことは
大切であります。そのことにより
町を知り、町を愛することに
なります。昔は「かわら版」と
いうのがありましたが、住民大会
においても、このかわら版をつ
くことを考えてみてはどうだろ
うか、そのことにより、地域を結び

につながつている
○ふるさと館でサケの稚魚を子供
たちの手で放流している。子供の
関心があり、密漁防止にもつな
がっている

以上、各分科会の書記さんが
とめた内容を掲載しました。
地域づくりは、みんなでするも
のです。地域活動に一人でも多
くのかたが参加することが大切な
ことです。積極的に参加すること
により、明るい町づくりにつな
がるのではないのでしょうか

つけるのに非常に効果があると
考えます。
資源有限の時代に入り、資源
の再利用、不用品交換会があり
ます。皆さんの公区においても
資源回収運動、不用品交換会を
検討してはどうだろうか。
最後になりますが、地域づく
りには、役場が住民にとって身
近な政府であります。役場職
員一人ひとりが地域づくりに理
解をしなければならぬと思
います。

私は、地域づくりというのは
例えば、道路上に大きな石があ
って邪魔になる、それをよけて
歩かし、自動車もよけて行くで
しょう。その大きな石を取り除
くには三人、または五人が必
要ならば、その人数が出て取り
除く、その協力が地域である
と思います。地域づくりにより
一人ひとりの生活、暮らしが豊
かになるのではないかと考えま
す。

昭和58年度の骨格予算が決まる

徹底した節減合理化を強調

投資的事業は6月定例議会に

昭和五十八年度の予算を決める定例第一回町議会が、三月十一日から三月二十二日までの九日間を会期に開かれ、統一地方選挙の年でもあることから、骨格予算を提案し議決されました。

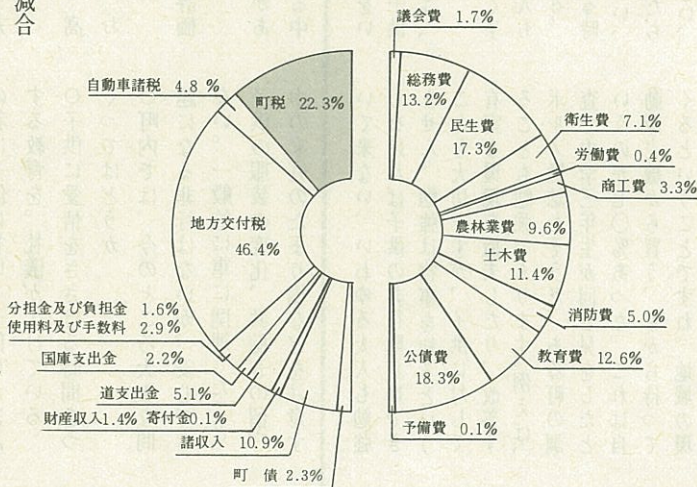
大石町長は「昭和五十七年度から町政を担当し『住みよい、暖かい豊かな町づくり』を基調に考えてきました。しかし、この八年間に国内経済も変化し、町財政も年々緊縮型へとなっています。今年には、なお一層の行政経費の圧縮、節減を図り、健全財政を基本に骨格予算を編成しました」と、昭和五十八年度の予算案を報告、提案しました。

五十八年度の国の地方財政計画によりますと、交付税(国から交付されるお金)が制度始まって以来のマイナス(前年度と比べ四・九%)ということになります。また、

表-1 予算総額 (単位千円)

会計区分	昭和58年度	昭和57年度	伸び率
一般会計	4,925,602	7,161,026	△31.2%
特別会計	3,210,003	2,496,769	28.6
合計	8,135,605	9,657,795	△15.8

図-1 一般会計歳入・歳出構成図



従来予算は「経常経費の節減合理化」は、新年度予算では「経費のより一層の節減合理化」と厳しい財政状況に対応した、節度ある財政運営を行うよう強調されています。

また、町民の皆さんの町政に対する要望も多様化し、限られた一般財源の中で、どのように応えていくか大きな課題です。

表-2 特別会計予算額 (単位千円)

会計区分	昭和58年度	昭和57年度	伸び率
総額	3,210,003	2,496,769	28.6%
国民健康保険会計	863,834	912,700	△5.4
老人保健会計	619,010	0	—
簡易水道会計	16,228	22,332	△27.3
駒畠営農用水会計	2,856	2,625	8.8
飲料水供給施設会計	6,619	6,754	△2.0
公共下水道会計	917,590	715,124	28.3
土地区画整理事業会計	240,719	209,479	14.9
国民宿舎事業会計	304,959	365,844	△16.6
上水道会計	238,188	261,911	△9.1

五十八年度の予算は、一般会計四十九億二千五百六十万二千円、特別会計三十二億一千万三千円、合計で八十一億三千五百六十万五千円と決まりました。これを五十七年度当初予算と比較しますと、一五・八%の減となります。さらに、会計別では、一般会計が三一・二%減に対し、特別会計が二八・六%の増となりました。

また、町財政の主要な財源である町税は十億九千七百九十七万二千円を見込み、五十七年度と比較して一〇・一%の伸びとなっています。

これらを基調として、骨格予算を編成しましたが、町税の伸び悩みや借金返済の増加などで多難な時に入っており、一段と厳しい状況を迎えることとなりますが、健全財政を基調として、生活に直結した施策が盛り込まれるのは、六月定例議会に提案されることとなります。

議決された事業予算の中には、昭和五十七年度の継続事業として、農業者トレーニングセンターの建設事業が入っており、九月末には完成する予定となっています。

春です!

いい環境を作りたい 街を清潔に保ちたい

また最近、多くの公区で実施している資源回収運動は、ゴミ減量に役立つばかりでなく、ものを大切にすることをはぐくみ、その収益金は公区の活動資金など、大いに役立っているようです。

ゴミを出すときは

ルールを守って

家庭からゴミを出すときは、ルールを守っていただくことが大切です。それが、ゴミ集積場をきれいにすることの第一歩です。
●ゴミは、袋詰めにして口を縛るか、こん包をしつかりとしてから出しましょう。
●台所のゴミは、十分に水を切ってから出しましょう。
●ゴミは前の日から出さないで、必ず収集日の朝八時二十分までに、所定のゴミ集積場へ出しましょう。

収集しなごゴミは

●建築(解体)工事や庭工事など、業者に頼んで出たゴミは、営業ゴミとして、業者が処理することになっています。
●引っ越しなど、一時的に出る多量のゴミは、豊岡ゴミ埋立地に各自で搬出することになっています。
●危険物(プロパンガスのボンベ)や自動車、バイクなどの処理困難物は収集しません。

庭木や危険物を出すときは

●庭木などを自分で切って出す場

ゴミは収集日の朝八時三十分までに集積場へ



合は、長さ一メートル以内で束ねてください。また、一度にたくさん出さずに、何回かに分けてください。
●割れたビンやガラスの破片を出すときは、作業をする人がけがをしますので、厚紙などでくるみ、「キケン」と表示してください。

ゴミは分けて出しましょう

●ゴミをむだなく、効率よく処理するため、燃えるゴミと燃えないゴミとに区分して、それぞれの収集日に出しましょう。
●燃えるゴミの日に燃えるものは、魚介、野菜、残飯、紙・繊維類、わら製品、木製品で、一個のゴミが一袋以内の大きさのものです。
●燃えないゴミの日に燃えないものは、プラスチック・ビニール類、金属類、ビン・空カン類、ゴム類、皮類、燃えがらなどです。

●大型でパッカー車に入らない粗大ゴミは、春と秋の粗大ゴミの収集日に搬出してください。

ゴミ減量のねらい

町では、公区の皆さんの協力をいただいで、「ゴミ減量運動」を進めています。

●ゴミの量を減らすことは……

●処理する費用も、それだけ少なくなりますので、その分の税金を道路整備、公園造成など、ほかの事業に使うことができます。
●埋め立て地を、それだけ長く使用できることとなります。
●資源として再利用できるものは、ゴミではありません。商品として立派によりがえります。皆さんの協力で、ゴミの量を少しでも減らしたいものです。

やめよう、ゴミの投げ捨て

少しでも減らすことにご協力ください。
●収益金は、町内会、婦人部、子供会などの活動資金として、いろいろなことに使われています。
●資源回収実践地区には、協力が交付されます。
●資源回収についてのご相談は、役場町民課環境衛生係にお問い合わせください。

最近、空カンなどのゴミが道路、公園、空き地などに投げ捨てられ、大きな問題になっています。ゴミの後始末はきちんと。ちよつとした心掛け、そしてみんなのマナーで街や自然は美しく保たれます。
●道路や公園に空カンが捨てられていることがあります。ひとりぐらいはと思つて何気なく捨てる心ない人のために、みんなが迷惑しています。回収かごに入れるなどのマナーを、ぜひ守ってください。

何気なくポイ……はダメ

●道路や公園に空カンが捨てられていることがあります。ひとりぐらいはと思つて何気なく捨てる心ない人のために、みんなが迷惑しています。回収かごに入れるなどのマナーを、ぜひ守ってください。



あなたの公区でも

資源回収を始めませんか

古新聞、古雑誌、空ビン、金属類は、資源として立派に再利用できるものです。ゴミにしないで公区ぐるみで資源回収し、ゴミを



ゴミ、空カンは回収かごに入れ、きれいな街に

車窓からの投げ捨ても……

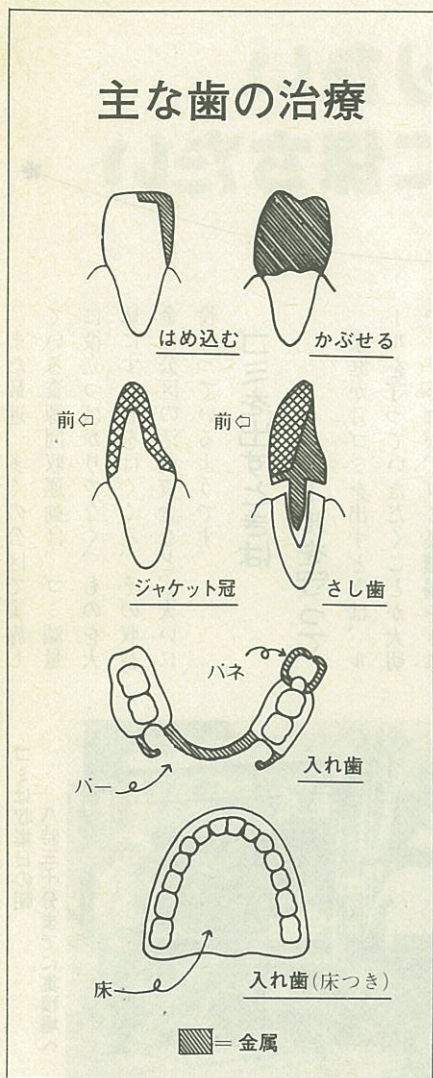
●車から空カンなどのゴミを投げ捨てるのは大変に危険ですし、すばらしい環境を壊してしまいます。車に袋を用意しておきましょう。

保険と自費の範囲

基本的には保険で 受けられます

歯の治療

主な歯の治療



③の「材料や治療法が特殊で、保険の効かない場合」には、次のよう

歯の治療は、歯の部位や治療方法などにより、治療費が複雑です。治療したあと、健康保険が効かないということ、トラブルが発生したこともあります。

そこで、歯のどのような治療に保険が効くのか、効かないのかを調べてみましたので、参考にしてください。

もし歯や歯槽のうろうろなどの治療は、健康保険で受けられます。歯に金属をかぶせたり、入れ歯をつくる場合も、銀合金や合成樹脂など普通の材料を用いれば、前歯、奥歯にかかわらず、ほとんど健康保険で受けられます。

しかし、保険が効かない場合があります。①予防処置（フッ素を塗るなど）②歯並びを直す③材料や治療法が特殊な場合——などです。

うなものがあります。順に見てみましょう。

- 金合金や白金合金（白金入りの金合金）をつめたり、かぶせたりする
- かぶせる歯（ジャケット冠）に特別な陶質材料を用いる
- 入れ歯の「バネ」や「バー」に十四金を超える金合金や白金合金を用いる
- 入れ歯の「床」を金属にする
- 人工歯が三本以上のブリッジを行う
- 貴金属（金合金、白金合金）を用いた治療には、原則として保険は効きません。ただし、前歯の治療では、材料費の一部に保険が効くこともあります。（材料差額方式）

以上のように、さまざまな場合があります。治療を受ける前に歯医者さんとよく話し合ってください。また、歯科矯正についても保険が効く場合がありますので、歯医者さんか町保健婦に相談してください。

健康カルテ

22

タバコと肺ガン

タバコのタールの中には、四十種類もの発ガン物質があり、また、ガンを促進する物質も含まれています。さらに、タバコの煙には、放射性元素が濃縮して含まれていることが分りました。一日に一箱半吸い続けると、年間で三百回のエックス線を受けたと同じこととなります。毎日タバコを吸うということは、この恐ろしいタールを口の中から、肺、胃など煙が及ぶあらゆる範囲に塗り付ける作業を、丹念に繰り返しているのと同じことです。タバコの本数が多いほどガンにかかる危険は増します。一日五本以下でも、肺ガンの死亡率は全く吸わない人の二倍、コウトウガンとなると、ときどき吸う人でさえ、十二・五倍もの死亡率を示しています。

●タバコを嫌いになる食事の工夫

①食後の一服は、条件反射的な行動ですが、これを断ち切るには、満腹になるまで食べ、腹八分目で満足するように食生活を変えます。また、禁煙の自信が着くまでは、食後は早めに席を立つことも必要です。

②タバコを吸う人の血液中には、常に一定量のニコチンが存在し、その量が減ってくる。タバコを欲しくなります。このとき、レモンの薄切りを口に含むと、喫煙の欲求が静まります。レモンに限らず、酸味の強い果物、食酢を利かせた料理をたっぷり取りましよう。

③体内にたまったニコチンを体外に出すには、ビタミン、ミネラルの働きを借りて、全身の新陳代謝を盛んにします。野菜やビタミンやミネラルは、水分が多いので、ニコチンの排出に有効で、タバコへの欲求も減らしてくれます。

④さらに、こつてりとした肉料理や味の濃い料理もタバコへの欲求をかき立てるものです。禁煙の初期には、これら避け、薄味であっさりとした食品と調理を心掛けましよう。

事故防止は 家族ぐるみの話し合いから

新入学(園)児の交通安全

新学期ももうすぐ。新入学児童をお持ちのご家庭では、期待に胸をふくらませながら、入学の準備になにかとお忙しいことでしょう。

お子さんの入学にあたって、忘れてはならないことの一つに、交通ルールのしつけがあります。特に行動範囲がグッと広がったり、新たに自転車を利用し始めたりするため、交通事故が心配されます。新入学(園)児については、家庭でぜひ、交通ルールやマナーについて、お子さんと具体的な話し合いをし、これまでに以上の十分な注意が必要です。

お母さん 気をつけてあげましょう

新学期を迎えて、まずお母さんに心掛けていただきたい点を挙げてみました。

▽登校時間に余裕を持たせましょう

入学当初の子供は、新しい環境の中でいろいろなことに神経を使い、疲れています。睡眠不足で朝寝坊をしないよう、夜は早めに寝かせ、朝は登校時間に余裕を持たせて送り出すようにしましょう。

▽明日の準備は、寝る前にさせましょう

忘れ物をしたため、途中であわてて取りに帰る道で、事故に遭うケースが多いのです。夜、寝る前

る習慣をつけましょう。

▽自転車は、子供の体に適したものを選びましょう

子供の自転車事故は非常に多いです。自転車の利用させる場合は、子供の年齢、体力、能力などを考えて体に適したのを選びましょう。また、安全な場所であるよう指導しましょう。

▽物陰で遊ばないよう注意しましょう

特に、停車している車の陰で遊ばないように、よく言い聞かせてください。

子供は、大人や年上の子のまねをする傾向があります。正しい交通ルールを教えるためには、ふだんから両親が良い手本となるよう心掛けることです。それが、子供を交通事故から守る大きな力となるでしょう。

ドライバーのかたへ

お願い

子供を交通事故から守るには、ドライバー一人ひとりの注意と協力が何よりも必要です。

まず、子供の行動特性を知ってください。子供には次のような特性があります。運転中、子供の姿を見かけたら十分に注意してください。

〈子供の行動特性〉

ボールが道路に転がり出すと、つい走り出してしまおうというように、子供は一つのこと

気が向くと、周りのものが入らなくなり、また、手を上げると車は必ず止まるといふように、物事を単純にしか理解できません。

そこで、次のことに、ぜひ注意してください。

▽住宅地や裏通りでは、子供の飛び出しが多いので、スピードは控えめに、子供の交通事故で一番多いのが、この「飛び出し」なのです。▽スクール・ゾーンでは細心の注意を払い、通園バスなどのそばを通り抜けるときは、必ず徐行して安全を確認してください。

▽車を発進させたり、後退するとき、周囲に子供がいなくても、か再確認をしてください。

▽左折するときは、左側に自転車に乗った子供や歩行者がいなくても、確認をしてください。



横断歩道でも安全を確認して渡りましょう

家族ぐるみで交通事故に備えましょう

町民交通傷害保険



- 保険料は月額40円で1人2口までOKです
- 保険金は1口当たり最高100万円まで支払われます
- お申し込み、お問い合わせは役場交通防災係、支所、出張所へ

青少年の非行防止は 家庭のしつけから…

昭和57年版青少年白書

最近青少年の非行や校内暴力、家庭内暴力などの増加が、大きな社会問題となつています。これらの背景として、わたしたちを取り巻く社会環境がますます複雑になり、青少年の生活や意識にさまざまな影響を与えてきたことを挙げることができましょう。

こうした社会環境の中で、家庭での子供の養育や教育はどうあるべきでしょうか。

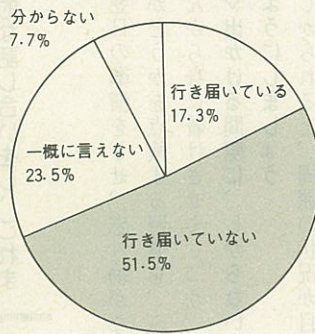
健全な青少年を育てるための「家庭におけるしつけ」——その実態と意識を「昭和五十七年版青少年白書」(総理府)から見てみました。

しつけに対する評価

「青少年を健全に育てるには、幼いころのしつけや家庭教育が大切」と思う親は八四%と最も多く、たいていの親は家庭教育が重要だと認識しています。しかし、社会一般の評価では、青少年の「しつけが行き届いていない」と思う人が約半数を占めています。

親は家庭でのしつけが大切だと思いつつ、なかなか手が届かないのが現状なのでしょう。

しつけに対する評価



しつけの厳しさ

家庭でのしつけの厳しさについて見ると、「世間並み」と答えた親が半数を占めています。が、「厳しい」と答えた親も三割います。

一方、「物の買い与え方」について親と子の意識を比較すると、親は「必要以外の物は買い与えていない」つもりでも、子供から見ると「どんな物でもたいいは買ってくれる」とする割合がやや多くなっています。

親は自分で思っているよりも、実際には子供に甘い態度をとっているようです。

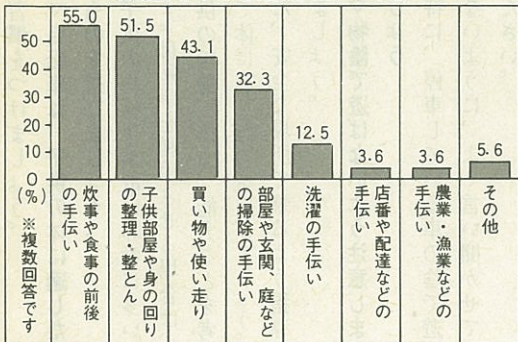
ふだんから言い聞かせていること

交通安全や礼儀などの身近な事柄については、よく注意がなされているようです。しかし、社会生活や公德心に関する事柄には、あまり重点が置かれていないようです。

家庭内での役割分担

家庭内での役割分担について見ると、約七割の人が子供に何らかの家事や作業の手伝いをさせています。しかし、その内容は「炊事や食事の前後の手伝い」「子供部屋や身の回りの整理・整頓」「買い物や使い走り」など、比較的、楽なものを中心となっています。

家庭内での役割分担の内容



ぼくのお母さん⑩
わたしのお父さん



ぼくのお母さんは、スーパーではたらいっているの、いつもつかれて帰ってきます。車の音がすると、ぼくは、いそいでげんかんに行き、電気をつけてまわっていると、お母さんがたいてま」と入ってきます。

ぼくは「おかえり」というと、すぐ、買ってきたものを、れいぞうこまでもつて行きます。

「すぐ、ごはんにするからね」といって、ながしに入って行きます。ごはんが終ったら、ちやわんをあらっています。

お母さんて、たいへんだなあ。お母さんは、いつも「あーあ、こしがいたい」とか、「かたがいたい」といいます。ぼくが、もんであげると「ハァー」といいながら、気もちよさそうにニッコリして「もう、いいよ」といいます。いつもニコニコしているお母さんが大好きです。

わたしのお父さんは、おびひろの会社につとめています。朝八時に家を出て、夜七時ぐらいに帰ってきます。

日曜日になると、わたしが「デパートにつれてって」と言うとお父さんは「日曜ぐらい、ねてたつていいだろう」とねています。こんどは、お兄ちゃんと二人で言う「だめだ!!」と言います。あまりしつこいと「いいかげんにして、ねかせろ!!」とおこり、近くにあるものをぶつけます。そういう時は、おっかないなあと思います。

でも、やさしい時もあります。いっしょにあそんでくれたり、キャンプにつれて行ってくれたり、三月三日にはひなケキを買ってきてくれました。

わたしがおとなになっても、元気でしごとがんばってくださいね。

スポーツ ひろば

皆さんお元気ですか？
健康な体づくりのため

スポーツをしましょう。



ゲレンデ華やか120人が参加

第四回町民スキー大会

第四回町民スキー大会が、二月六日に町営明野ヶ丘スキー場で、百二十人が参加して開催されました。競技は、滑降・回転・ジャンプの三種目で、滑降と回転の合計タイムで総合順位が出されます。競技の結果は次のとおりです。



楽しさいっぱいの明野ヶ丘スキー場

- 小学低学年男子 (滑降) ①松山智(幕小) ②柳田社彦(糠小) ③桑原淳(幕小) (回転) ①下田龍司(白小) ②福島到(糠小) ③桑原淳(総合) ①福島到 ②下田龍司 ③桑原淳 ●同女子 (滑降) ①志田あすか(糠小) ②山田恵子(糠小) ③松岡淑恵(糠小) (回転) ①松岡淑恵(幕小) ②鷺見幾世(糠小) ③井沢佳子(総合) ①松岡淑恵 ②鷺見幾世 ③志田あすか ●小学高学年男子 (滑降) ①村田雪生(幕小) ②岸野克徳(幕小) ③樋口望(幕小) (回転) ①樋口望 ②橋本剛(糠小) ③窪田由紀(糠小) (総合) ①樋口望 ②橋本剛 ③山田貴秋(糠小) ●同女子 (滑降) ①井沢千春(幕小) ②山崎路代(糠小) ③渋谷香奈(糠小) (回転) ①井沢千春 (総合) ①井沢千春 ②渋谷香奈 ③高木なおみ ●中学男子 (滑

降) ①岸野大介(幕中) ②田岡忠(幕中) ③村田安曇(幕中) (回転) ①岸野大介 ②北原正喜(幕中) ③田岡忠 (総合) ①岸野大介 ②田岡忠 ③北原正喜 ●青少年 (滑降) ①金山守(寿町) ②中村優(寿町) ③池田秀則(寿町) (回転) ①金山守 ②中村優 ③若原輝一(成人) (滑降) ①佐藤久雄(札内中央町) ②高橋政雄(緑町) ③印銀道広(札内桂町) (回転) ①藤家博章(緑町) ②高橋政雄 ③佐藤久雄 (総合) ①佐藤久雄 ②高橋政雄 ③藤家博章 ●壮年 (滑降) ①藤原寿美(旭町) ②酒井義雄(札内青葉町) (回転) ①藤原寿美 ②酒井義雄 (総合) ①藤原寿美 ②酒井義雄 ●一般女子 (滑降) ①八代美智代(旭町) ②鈴木仁美(途別) (回転) ①鈴木仁美 ②八代美智代 (総合) ①鈴木仁美 ②八代美智代 ●小学生 ①村田雪生(幕小) ②岸野克徳(幕小) ③福島裕典(幕小) ●中学生 ①前川雅志(幕中) ②北原正喜(幕中) ③近藤慎哉(幕中) ●一般 ①藤家博章(緑町) ②佐藤久男(札内中央町) ③中村優(寿町)

展開されました。大会成績は次のとおりです。
●小学低学年男子 ①篠永泰護(幕小) ②根田和夫(幕小) ③樋口英二(白小) 金曾智樹(幕小) ●同女子 ①永井理恵(糠小) ②武田智美(幕小) ③八太祐佳(糠小) 森本ひろ江(幕小) ●小学高学年男子 ①駒井健一(白小) ②小串勝美(幕小) ③吉田英史(幕小) 鎌田訓共(幕小) ●同女子 ①篠永博子(幕小) ②武田博美(幕小) ③竹村美佐代(幕小) 広瀬志保(幕小) ●中学男子 ①宗岡寿美(札中) ②山崎経継(幕中) ③服部孝司(幕中) 磯博(札中) ●同女子 ①片山佳織(幕中) ②佐藤久美子(幕中) ③駒井美江(札中) 小師早苗(幕中) ●ジュニア男子 ①渡辺勲(帯南商) ②杉山利明(池高) ③山中敏則(池高) 兔沢秀人(幕高) ●同女子 ①坂口恵美子(幕中) ②渡部己弥子(幕高) ③小野内理恵(幕高)

第三回全町少年卓球大会が行われる

第三回全町少年卓球大会が、二月二十七日に幕別小学校体育館において、二百人が参加し、熱戦が

第四回町民卓球大会が行われる

第四回町民卓球大会が、二月二十七日に幕別小学校体育館において、三十人が参加して行われました。大会成績は次のとおりです。
●一般男子一部 ①丸山雅美(幸町) ②菅野勇次(本町) ③田井啓一(本町) ●同二部 ①越田覚(札内) ②鎌田幸雄(南町) ③宮川栄(南町) ●一般女子の部 ①赤塚セイ(札内あかしや町) ②中山ナミエ(札内あかしや町) ③森本都美恵(南町)

ストップ・ザ・交通事故

- 11 -



旭町24
末吉康弘さん

交通事故ゼロの心構え

これだけ車がはんなりし交通量も多くなると、事故を起こすというほうが無理なような気もしてきますが、しかし、事故は許されません。交通事故の原因はいろいろあるでしょうが、運転する側では、緊張感を欠くことが、その一因だと思われれます。運転に慣れてくると、いいかげんにハンドルを握っていて、ヒヤッとした思いが私にも何度かあります。

免許取り立ての、あの緊張感を持ち続けることが、交通事故ゼロにつながるものだと思います。

歩行者側でも、横断歩道を渡らず道を横切るなどのルール違反をよく見かけます。

いったん事故が起きると、加害者も被害者も一生悲惨な思いをしなくてはなりません。お互いに気をつけたいものです。

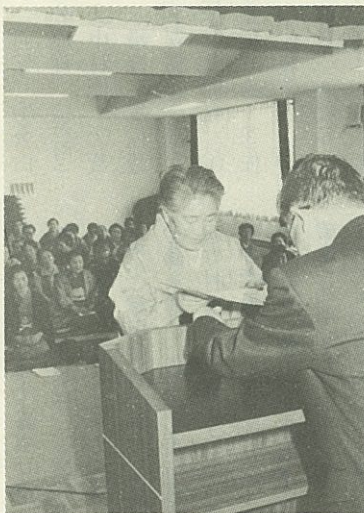


◀消費者協会で料理講習会を開催
牛乳および、米の消費拡大のため、二月二十五日町民会館で、料理講習会を開催。作った料理を試食しながら、食糧管理法の改正の説明を受けました。



▲100人が参加して農政講演会が行われました
3月5日町民会館で「農業近代化実現と、今後、農民のとるべき道はなにか」と題し、茨城県の農場主、上野満氏の講演に100人あまりが熱心に耳を傾けていました。

▶しらかば大学の卒業式
しらかば大学の卒業式と修了式が、三月十五日に老人福祉センターで行われました。落第生もいましたが、卒業生は十四人。新年度からは大学院生に？



▼心身障害児学級卒業激励会
3月8日、幕別温泉で児童・生徒22人が参加。ライオンズクラブからの記念品贈呈のあと、ゲーム大会などをして、1日楽しみました。



まちのニュース



◀救急車が更新されました
三日に二回の割合で出勤している救急車が、老朽化したため、日本損害保険協会から寄贈されました。従来よりベットの数が一つ少ない二床で、少し小型になりました。

▼お年寄りにおすしをプレゼント

旭町第1公区婦人部の人たちが、旭町近隣センターで料理講習会を行い、お年寄りが喜びそうなメニューに挑戦。そのあと、日ごろお世話になっている地域のお年寄りを招待。おひなさまずし、などをプレゼントしました。



▲交安千羽づるを寄贈
庄司幸子さん(南勢)から、交通安全冬期講習会に参加して、事故の恐ろしさを再認識。私たちの町から交通事故が減少することを祈願し、役場へ千羽づるの寄贈がありました。

▼「白いゴールテープ」を発刊

札内中学校陸上部後援会で、「白いゴールテープ」第5号を作りました。この本は、160ページでがり版印刷。陸上競技をやっているの感想ら記録がびっしり。



私たちの生活を見直そう

第31回婦人まつり終わる

第三十一回幕別町婦人まつりが二月六日に町民会館で、各層の団体の婦人二百人が参加、研修と交流を深めました。

この婦人まつりは、幕別町婦人団体連絡協議会が主催して、毎年行っているもので、今回は「私たちの生活を見直そう」をテーマに、日常の衣・食・住から生活を見つめ、よりよい生活環境をつ



人気のあったリフォーム・ファッションショー

あいを大切に」と題して講演があり、乳児期の母親の愛情が子供の将来を大きく左右します、と話していました。

その後、最近、インスタント食品や冷凍食品が多く使われている中で、カルシウム不足などの問題を抱えていることから、昼食は、すべて婦人たちの手作り。手打のそ

くることが目的で開催されました。午前十時からの開会式のあと、児童文学者で道教育大学岩見沢分校講師の坪谷京子さんが「心のふれ

短歌 あゆみ会 二月例会

気泡風呂に入れば体の浮き易く両手をつきて背をのぼしおり

勝山 春代

夜半覚めて眠れぬといふ夫のため小さきラジオ購い来ぬ

森田美恵子

この夕べ視界おぼろに万物の音を静めて雪降りしきる

宗広とくえ

立春の朝に樹花きらめきて待ちわびし春いまだはるけき

清水はつよ

山脈を一刀両断なすごとく送電線は頂きに消ゆ

寺師 治人

ばやうどん、いも団子、牛乳料理などが参加者に好評でした。

研究発表では、使い捨て時代から節約時代へと、リフォーム（古着の再利用）を中心とした省エネファッションショーが、今回初めて行われました。このリフォーム

には、お父さんやお母さんの古い着物が、子供のズボンやスカートになったり、ジャージーが手提げバッグになるなど、どれも目を見張るものばかり。婦人たちのちょっとしたアイデア作品、二十点が出品され、モデルさんに拍手を送っていました。

また、途別の婦人たちが中心になり、デイスコダンスも行われました。婦人団体連絡協議会では、来年

「寄付ありがとう」ございます

■町社会福祉協議会へ……

▽幕別技能士会(代表・柳澤正義)から刃物研ぎ講習会による募金として二万五千六百五十二円
▽幕別親誼連合会から身体障害者基金会計へ三万円
▽杉山昇さん(旭町)から母が生前お世話になりましたと三万円
▽匿名のかたから千円
▽札内ワカサギ歌謡会から六万四千四百五十五円

■老人クラブへ……

▽渡辺茂雄さん(相川)から相川南老友会へ一万円
▽郡司培穂さん(上稲志別)から日新老人クラブへ三万円
▽末吉ツイさん(西猿別)から西猿別老人クラブへ一万円

はもつと盛大にしますので、今年参加できなかったかたも、来年は多数参加してくださいと話していました。

守れや守れ

65年ほど前の歌

六十五年ほど前に歌ったうたが、今でも立派に通用しています。みなさんも歌ったことがありませんか。

「守れや守れ 大事な命も宝も家も 火事には焼かれる 油断するな

「守れや守れ 車道に歩道区別をなして 道行く時には 左を通れ(現在は右側通行)

▽杉本トメさん(途別)から札内寿会へ二万円
▽今田武喜さん(緑町)から緑町老人クラブへ五万円
▽新田勝治さん(駒島)から駒島老人クラブへ五万円
▽葛西敏昭さん(南町)から幕別老人クラブへ三万円
▽幕別老人クラブ演芸部へ二万円

お願い

公区・地域・学校などで行事を開催した場合には、簡単な内容と写真二種類を町民課広報広聴係までお寄せください。広報まくべつの「まちなニュース」で掲載いたします。

4/16(土) 温水プールがオープン!

☆オープン当日は無料開放しますので、皆さんおそろいでお越しください。なお、当日の開館時間は、13時から17時までです。

〈開館時間〉

平日	13:00~19:30
日曜・祝日	10:30~17:30
定休日	毎週火曜日

きれいな選挙で 明るいまちづくり

大切なあなたの一票を生かしましょう!

4月10日 知事・道議の投票日
4月24日 町長・町議の投票日



ヒヨドリ●ムクドリよりやや大きめで細身の鳥。細長くちばしで果実や花の蜜をとるほか、リンゴやパンを好み庭先に餌台を置くよく飛んでくる。深い波状を描いて飛ぶ。



僕の探鳥ノート②

おいしい食事のすすめ 横山 渡

私たちにとって最も身近な野生動物は鳥である。庭にえさ台を作って残飯などをのせておくと、市街地でも色々な鳥が見られる。まずスズメがやって来る。彼らは安全を確認すると一斉に飛んできてえさを食べ始める。その食欲は相当なもので、小犬一匹のえさ位軽く食べてしまう。スズメが来だすと他の鳥たちが次々と来る。要するにスズメは安全マークなの

である。シジュウカラという白黒の小さな鳥、ツグミという割に大きな鳥、キーキーとやかましく鳴く灰色のヒヨドリ(この鳥はリンゴが大好き)、他にもキツツキの仲間のアカゲラやムクドリ、シメ、カワラヒワなど今まで見たことのない鳥たちがやって来る。えさ台の小鳥をねらって時々、空の王者・ハヤブサまで来る。

庭で見られる鳥は年間通して二十種近くになる。そしてその多くは冬の間に見られる。冬は山にえさがないのでそれを求めて市街地まで降りて来るからである。朝起きて小鳥たちの食事風景を眺めながら、自分たちも共に食事をすると、都会では絶対に味わえないぜいたくである。もうじき暖かくなって夏鳥たちがやって来て、さえずり出す。その時は彼らのさえずりをBGMに食事ができる。もうそれだけで北海道は健康的なのである。(よこやま わたる 日本野鳥の会十勝支部会員)

新和の大地に八幡神社が祭られたのは大正七年のことである。同時に地神様も祭られている。新和神社が設立されるまでは西猿別と新和が合同で現在の西猿別神社でお祭りを行なっていた。大正九年、欧州戦争終戦の年、新和全域で感冒が流行し



社号標(しゃごうひょう)●鳥居の正面に掲げられていた標札。新和神社が大正7年に祭られた時のもので、荒五百五先生書。八幡神は安産、生産、農耕の神。

新和神社の秋祭りは毎年九月六日(昭和二十二年以後は九月十五日)で、催しは相撲、芝居、浪曲舞踊、豊年踊り、演芸会などが行なわれた。昭和二十年ごろには、こまどり姉妹や富士月の栄なども興業に來たほど、新和のお祭りは有名だった。他の地域からも人が集まり、たいそうにぎわったそうである。

子供たちは「来年もぜひ」と意欲を燃やしています。がんばった子供たちと先生に拍手!

だ、神社は部落の顔

信仰していれば部落にも和が出来る。と、当時この地区で教員(恩根内特別教授場)をしていた荒五百五先生の言葉が、新和に神社を設けるきっかけになった。荒先生の奉納精神に打たれた一人、服部竹太郎さん(間一さんの父)は、猿別の金刀比羅神社の神主で帯広神社の役員もしていた野瀬駒次郎氏に、神社設立の手続きを依頼した。

和から猿別まで担いで運び、そこで製作し奉納した。原木はかしわの木で、笠木二十二尺(六・六尺)、一本、柱二十尺(六尺)、二本、ともに直径二尺五寸(七十五センチ)の巨木だった。原木を鳥居にするまでに泊まり込みで四十三日間かかったそうである。

第36回 幕別まつり 路傍の神 ① 新和神社

感冒がやっとなお、新和神社は八幡神社の分神は受けているが、能瀬神主の他界で登記するまでには至らなかった。(取材・小尾一彦) 取材協力 服部間一さん(75歳) 助川重忠さん(70歳)

サーモン通信 ③〇

幼稚園、小学校、中学校の子供たちが四カ月間見守り育ててきたサケの稚魚が三月十日から二十三日にかけて、それぞれ近くの川から相次いで放流されました。数ある魚の中でも特にサケの飼育は難しいとされていますが、体長五・六センチと立派に育った稚魚たちは元気に早春の川に泳ぎ出しました。



学校で育てられたサケは町内を流れる五つの河川から放流された。

小学生のみんなへおしらせ

募集!!

2001年、ぼくとわたしの夢

ふるさと館 未来大賞

しめぎり●5月1日(日) 発表●5月5日(木)ふるさと館ホール

今の中、うつりかわりが、とつても早い。みんなが社会の主人公になっている21世紀、どんな世界になっているかな——宇宙は? 町は? エネルギーは? 海は? 学校は? テレビは? 地球は? のりものは? そしてきみ自身は? ——どんなことでもいい、きみの夢をイラストや作文にしてふるさと館へ送ろう。イラストの大きさ、作文の長さなどすべて自由。みんなをうならせちゃう作品にはオリジナルエプロンやサインパンをあげちゃう。

今日のヒナオ ちよっと前のニュース 婦人まつり/サケ放流